

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2016年5月 第15号

本年度の主要な取り組み

教育臨床心理実践センター長 本間友巳

教育臨床心理実践センターでは、本年度も様々な取り組みを積極的に展開していく予定です。以下に、主要な取り組みの概略を述べたいと思います。

1. 教育委員会への支援

京都府立清明高校に、心理学を専攻している大学院生を「院生サポーター」として派遣します。清明高校とは、昨年度、京都市内に開校した昼間制・三修制を取り入れた新しいタイプの定時制高校です。義務教育段階で不登校を経験した生徒、発達障がいのある生徒などが多く入学しており、教育臨床的な支援が強く求められている高校です。私自身も、昨年に引き続きスーパーバイザーとして、清明高校への支援に関わっていきます。

また数年前から、「いじめ防止対策推進法」に基づいて設置されている京都府教育委員会「いじめ防止対策推進委員会」に加わっており、本年度も京都府のいじめ対策への支援を行っていく予定です。

2. 附属学校園への支援

附属学校園の子どもとその保護者及び教職員への支援のために、平成23年度から臨床心理士の資格をもつ「スクールカウンセラー」を派遣しています。最近では個別の相談・カウンセリングのみならず、不登校やいじめや発達障がいなどをテーマとした教職員向けの「校内研修」や、子どもや保護者を対象とした「啓発活動」でも、スクールカウンセラーが活用されており、徐々に充実した活動が展開されるようになってきました。(表2)

3. 地域への支援

センター内の「心理教育相談室」では、地域への支援の一環として、平成12年度から相談活動を行っています。昨年度は、年間で実件数106件(延べ回数752回)の相談を受けました(表1)。16年に及ぶ地域への教育臨床的支援を通して、本相談室は地域の子ども・保護者・学校などから信頼される相談機関になってきました。

年度	H23	H24	H25	H26	H27
実相談件数	79	88	100	77	106
延べ相談件数	694	847	904	736	752



表2

桃山地区スクールカウンセラー(岩瀬佳代子 中学校・高等学校担当、1回 7.75 時間×40 回)
平成 27 年度(4 月～3 月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	61	21
延べ相談件数	181	91

桃山地区スクールカウンセラー(西山智栄子 小学校・幼稚園担当、1回 5 時間×35 回)
平成 27 年度(4 月～3 月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	24	67
延べ相談件数	82	153

京都地区スクールカウンセラー(荒井久美子 小学校・中学校担当 1回 6 時間×35 回)
平成 27 年度(4 月～3 月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	26	53
延べ相談件数	155	151



心理教育相談室について

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824 (月曜～金曜, 午前 10 時～午後 4 時)

公開講演会の案内

日時：平成 28 年 7 月 26 日(火) 16 時～18 時

場所：京都教育大学 教育臨床心理実践センター 1 階 教育臨床実習室

演題：「少年非行の現状と少年サポートセンター活動の実践について」(仮)

講師：京都府警 少年課少年サポートセンター 脇久美子先生

参加費：無料 定員：50 名 対象：学生、一般

教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員(センター長) 教授 本間友巳 非常勤カウンセラー 岩井秀世(月曜)

兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 教授 小松貴弘 准教授 西村佐彩子

相談補佐員 荒井久美子(月・火曜) 金子真理子(水曜) 西山智栄子(木曜) 馬場貴美代(金曜)